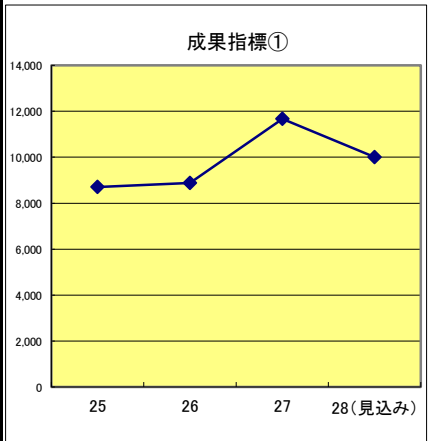
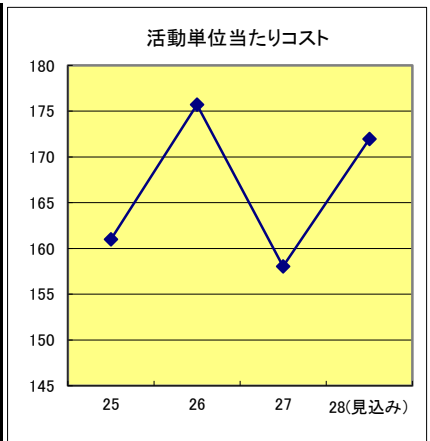


事務事業名		図書館管理運営事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち		款	10	教育費
	施策(節)	3	生涯学習		項	5	社会教育費
	施策の方向	(3)	図書館活動の充実		目	9	図書館運営費
関連する計画等		・羽曳野市子ども読書活動推進計画、・羽曳野市子ども夢プラン		事業	8	図書館総合運営	
事業の概要(目的・内容)		・図書館では、多様な資料や情報を収集して地域住民の課題解決を支援し、地域を支える情報拠点として事業を推進している。業務内容は、資料提供を中心に蔵書管理、資料収集、リクエストサービス、レファレンスサービス(読書相談)、児童サービス、障がい者サービス、学校図書館支援事業、各種集会文化活動(講座・講演会等)、利用啓発(資料展示)、図書館関係団体への援助・連携、ステーションライブラリーや森のゆうびん局の運営、広域貸出サービス等を行っている。		作成部署	生涯学習室図書館課		
根拠法令等		社会教育法、図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字・活字文化振興法		(連絡先)	072 - 950 - 5501 内線 5555		
事業期間		☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満(平成 年度開始)					
事業開始時から の状況変化		昭和28年府立ブックステーションとしてスタートし、平成元年コンピュータシステムを導入現在第5期図書館システムとなっている。6館1ブックステーションでのサービス並びに、10市1町(本市含む)による広域貸出を行っている。					
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(みのりの里)		委託内容	図書館業務委託		
		☐ 民間委託 ☐ その他					

区 分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)	51,679	53,419	41,375	46,671
人件費【2】 (千円)	106,624	110,727	108,172	116,680
職員数				
正規職員	5.00 人	4.59 人	4.59 人	4.59 人
再任用職員	0.84 人	3.80 人	3.80 人	3.60 人
嘱託員	21.00 人	21.00 人	18.00 人	18.70 人
臨時職員	9.40 人	9.42 人	0.00 人	1.00 人
非常勤職員	人	人	10.35 人	10.30 人
超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【(1)+(2)】【A】 (千円)	158,303	164,146	149,547	163,351
財源内訳				
国庫支出金 (千円)				
府支出金 (千円)	3,209	3,962	3,099	218
市債 (千円)				
その他(使用料・手数料等) (千円)				
一般財源【B】 (千円)	155,094	160,184	146,448	163,133
活動指標 (事業の活動実績)【C】 単位	25年度	26年度	27年度	28年度 (見込み)
① 年間個人貸出冊数 冊	983,280	934,237	946,264	950,000
② 年間団体貸出冊数 冊	50,388	50,921	55,057	56,000
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①) 円	161	176	158	172
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①) 円	158	171	155	172
市民1人当たりコスト (【A】÷人口) 円	1,359	1,421	1,304	1,436
一般財源【B】の推移(前年度比)		3.3 %	▲ 8.6 %	11.4 %
※前年度比5%以上変動している 要因(該当する場合のみ)	☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減			
	☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減			
※該当項目すべてに✓	☒ 5. その他(新システムリース料(前年度までリース期間が切れていたため)			



成果指標 (事業の達成度)	指標名		単位	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	①	市民一人当たりのサービス効果	円	目標	8,675	8,710	8,838	達成率(%)	10,000		
		(式又は説明) 購入図書平均単価×貸出冊数÷人口		実績	8,703	8,884	11,668	132.0%			
	②	貸し出しサービス指標	円	目標	693	699	695	達成率(%)	800		
		(式又は説明) 購入図書平均単価×貸出冊数÷図書館費×100		実績	698	714	892	128.3%			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○		○				○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	図書館は、子どもからお年寄りまで、だれでも気軽に資料を利用できる機会を補償することにより、豊かな人間形成の創造に寄与する施設であり、市が設置することは妥当である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	・市民一人当たり8冊を超える貸出がなされており、コストも抑えられている。 ・他府県からの資料の取り寄せは、受益者負担で行っている。 ・開館の状況に合わせた人員体制である。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
	協働性	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	図書館協議会での意見を参考にしながら、各種ボランティア団体との協働により、図書館サービスを提供している。
		事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	図書館の情報提供機能により、地域住民の課題解決に寄与し、有効性が高い。
	有効性	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	前年度より向上している。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など） 平成28年6月から、第5期となる図書館システムを導入した。前システムに比べ約40%のコスト削減となった。今後、さらなる読書環境の整備やIC化、電子書籍、各種データベースの導入、読書通帳、ボランティアの育成、インターネット環境整備等、取組検討していく必要がある。 ・業務を進めて行くにあたり、適切に検討推進していけるだけの組織体制の確立が必要となる。	
行革本部評価	総合評価	
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	
		評価理由・意見